

草取り（7月）	0910 0915	N 夏。 うだるような暑さの中、田んぼの草取り作業をする植田さんの姿がありました。
	0926	ツメで土の中をかき混ぜてやると同時に草を抑え込むという作業をしています。 Qこの草も肥料にするってことですかね？ そうですね、それもありますし、ほとんどはこの草が肥料を吸ってしまうので、それが一番僕らの困っている原因なので Q農薬まけばすぐ死んじゃいそうな気がしますけど。でもね、農薬まくとね、やっぱり虫も死にますし、コウノトリを育む農法に関しては、まあコウノトリもそうなんですけども、色んな虫がいる、それを食べてくれるカエルをつくれればいい、だから農薬を使いません。
コウノトリ餌食う	1006 1008	N 手間はかかりますが、全てコウノトリが暮らすことのできる環境づくりのためです。
バスがやってくる 子どもたち降りてくる 植田さん引率	1017 1025 1031 1033	N 植田さんの田んぼにこどもたちがやってきました。 (おはよー) N 毎年行われている、生きもの調査授業。田んぼにたくさんの生き物がいることを知ってもらうためです。
植田さん説明（子供の表情）	1043	わからないことがあったら、僕にも聞いて下さい。それからこちらにおられます博士にも聞いてください。元気よく...やります！（子供）はい！
子どもたち田んぼに入る	1056	N おっかなびっくり、裸足で田んぼに入っていく子どもたち...
こども	1102	歩きにくい！

田んぼロング コオイムシ	1 1 0 5 1 1 1 1 1 1 1 8	N 網ですくうだけで、たくさんの命に出会えます。 N 生きものに触れたり、違いを学んだり、自分なりに分類したり…、教室では教えてくれない生きた授業です。
先生おおはしゃぎ	1 1 3 6	わー、すごい、足が生えてしっぽも長い！
おたまじゃくし	1 1 4 1	N おたまじゃくしもいました。
バットの中の生き物	1 1 4 6	N 子どもたちは初めて見る生き物に興味津々です。
女性の先生指導	1 1 5 3	これは見たことあるかな、みんな？この中にいるのはヤゴっていいます。何かみんなの好きな虫のこどもだけど…（子供）トンボ！
	1 2 0 9	これ捕まえた人？すごいねーよく捕まえましたねー
	1 2 1 6	豊岡市立コウノトリ文化館・上田尚志館長 「他の田んぼでは見られない生き物がたくさんいますね。ですから、そういうのがたくさんいる、特にカエルが多いってのがすごい特徴ですね。やっぱりコウノトリを育む農法の特徴だと思いますね。」
豊岡市俯瞰 ドローン×2	1 2 2 8 1 2 3 3	N 田んぼが自然界の法則によって生かされている、コウノトリを育む農法を、そう表現する専門家もいます。米作りの敵である雑草や害虫を駆除するために農薬を使用したことで、結果的に害虫をエサとしていた生き物たちの生活の場をも奪ってしまっていたのです。
バッタが飛ぶ	1 2 5 9	N 長い間、水が張られた田んぼには、多くの生き物が宿るようになりました。
川の中のコウノトリ	1 3 0 8	N そしてコウノトリも…。
クラッターリング	1 3 1 0	(クラッターリング：カタカタカタ…)
クラッターリング	1 3 2 1	N くちばしを激しく打ち鳴らす求愛行動、クラッターリングです。
飛び立つ	1 3 3 2	N 野生のコウノトリも毎年ペアを作り、多くのヒナが巣立つようになりました。自然界の食物連鎖が蘇っ

		た証です。
植田家 家族連れ 穂のチェック	1 3 4 5 1 3 4 8	N しかし、自然に任せきりというわけにもいきません。毎日田んぼに出ては、水の量や、稲の生育状況を細かくチェックしていきます。
剥きながらチェック	1 4 0 2	今、この袋の状態です。汁が垂れたんですけど、これくらい水が、水分がたくさんおるという状態が穂にとってはいいんです。
寄り 草にPD	1 4 1 2 1 4 2 7	N 稲の穂が出始めた、出穂（しゅっすい）という状態です。この時期で何よりも重要なことは水の管理。 N しかし、こんなに草が生えていて大丈夫なのでしょうか？
同じINS？	1 4 3 5	これからは肥料をあまりいっぱいこの穂に吸わせてしまうと、食味が落ちちゃいます。味が落ちるという状態になっちゃうんで、株間くらいの株間に草がいるくらいだったら別に構わないと。この草が悪い成分、窒素だとかいうものを吸ってくれて、こちらに必要な分くらいの肥料がいくので、それで十分です。十分お米もとれます。
田んぼ横パン	1 5 1 0 1 5 1 3	N 今年のお米も期待できそうですね！